

スクラム

三好丘中学校区人権教育推進委員会
平成30年7月20日 No.4



黒笹小学校「にこにこウィーク」開催

黒笹小学校では、6月25日(月)～29(金)に「にこにこウィーク」(人権週間)の取り組みがありました。「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」をテーマに取り組んでいる三好丘中学校区人権教育の一環として、本校が心をひとつに取り組みようと計画したものでした。委員会や6年生による工夫を凝らした数々の催し物が開かれ、まさに「にこにこ」の笑顔あふれる1週間でした。しかし、計画した高学年の子ども達の中にはこれに満足することなく、次へのステップを考えている子もいるようでした。今回は、そんな子どもたちに目を向けてみようと思います。

「にこにこウィーク」期間中の26日(火)は、特に「にこにこデー」と題し、人権教育に視点をあてた道徳授業参観、PTA による人権教育講演会、中庭での全校「にこにこ合唱」(校歌とスマイルアゲインを合唱)、そして「なかよし会」「なかよしランチ」と、盛りだくさんの一日でした。その「なかよし会」「なかよしランチ」は6年生が計画しました。「なかよし班」という1年生から6年生までが縦割りになってつくられた20名ほどの、まるで大きな家族の兄弟姉妹のような班での活動です。6年生がじゃんけん列車やしりとり、ハンカチ落としなどを計画し、兄弟姉妹たちは気持ちを通じ合わせ、笑顔や歓声があふれました。その雰囲気を継続させて「なかよしランチ」となり、にこにこ笑顔でお弁当をいただきました。計画した6年生のふり返りには「他学年ともっと関わりをもって楽しんでもらいたいし、こういうことを考える自分たちも楽しかった」(平吾リリアーナ)や、「にこにこウィークが終わると、もう一緒に遊ばなくなってしまうので、こういった企画を計画的にこれからもやれるといいと思った」(東菜々美)と言った声もありました。自分たちで計画した充足感、みんなが笑顔で楽しめた達成感に合わせ、次なる目標に気持ちが向いたことは、今回の「なかよし会」の成果のひとつであると感じています。こうした取り組みを計画的に設定し、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」のテーマに迫ることができるよう、子どもたちの意欲を見守り、支援していきたいと考えます。

(6年主任 石井 撰絵)



①にこにこ全校合唱:中庭に全校447名の声が響きました。②にこにこ読書祭り:人権コーナーの絵本も大好評です。③なかよし会:しりとりに盛り上がりしました。④にこにこふやし鬼ごっこ:6年生が下級生に手をそえる姿も見られました。⑤にこにこお昼の放送:全校放送でありがとうのあたたかい気持ちを友達に伝えました。





あいさつトレジャーハンティングの取組

三好丘中学校と合同で行っているあいさつ運動も3年目を迎えました。今年度はさらにはあいさつが進んでできるように、また、中学生との距離もより縮まるようにという願いを込めて、生活委員会が中心となって自分自身のあいさつを振り返る「あいさつトレジャーハンティングカード」を作成し、6月26日(火)から7月2日(月)まで取り組みました。中でも、ハイタッチをしながらあいさつをするという試みは、楽しくあいさつすることにつながり、中学生とも進んでハイタッチをし、笑顔いっぱいの子どもたちが見られました。子どもたちの感想からも、楽しく前向きにあいさつ運動に取り組んでいる様子が伝わってきました。今後もコミュニケーションの第一歩である、あいさつが進んでできるよう、子どもたちのアイデアを大切にしながら、取り組んでいこうと考えています。

自分からあいさつができてとても気持ちが良い一日になってよかった。
4年 松下 歩楓

やってみて他の学年の子にもあいさつができて笑顔になれてよかった。
5年 横掘 春河

いろいろな人とあいさつをして、ともだちができた。
2年 福原 友美



【 中学生とハイタッチ 】



仲間を認める、絆を深める

「自分の大切さと共に他の人の大切さを認める」ことは本校学区が取り組む人権教育の柱です。地域全体で自他の大切さを認める活動として地域でのあいさつ運動を行っておりますが、校内でも自他の大切さを認める教育を様々な活動に取り入れています。

2年生は6月24日から26日にかけて福井県で自然教室を行いました。3日間を通して肌で自然の偉大さを感じ、様々な活動を行いました。仲間と手を取り合って登ったハイキング、学級で力を合わせたカッター訓練、何日も練習を重ねた火の舞などから仲間の大切さを実感する活動がたくさんありました。今年度の自然教室では、「良いところ見つけ実行委員」という実行委員を立ち上げ、この3日間で仲間の良さや大切さを認める活動を行いました。「A君はハイキングで「大丈夫?」と声をかけてみんなを励ましていた」「Bさんは部屋長としての的確な指示を出していた」など、模造紙3枚いっぱいになるくらいたくさんの良いところを見つけました。
(研究主任 林 勝也)

ハイクるときにみんなを気づかせてくれた。
荷物を持たせてあげて、手をかしてくれて。
他の人のかばんをもちあげたり、自分のかばんをもち上げてくれた。
ハイキングや漁火の実行委員をがんばっていた。
ぜんそくにならなうときに心配してくれた。
いろんなときに優しくしてくれた。
ハイキングで班の人数が少なかった。
ん ハイクで「がんばれ〜!」と言ってみんなを励ましてくれた。
せんを上手に運んでいた!!
まわりのことを気にかけてくれた。

【 2年生が見つけた仲間の良さ 】



【 仲間と協力したハイキング 】



【 みんなの力を合わせたカッター訓練 】